

危機管理対策・庁舎整備等特別委員会

日時：平成 24 年 5 月 23 日（水）午前 10 時から
場所：議会第 1 委員会室

（報告事項）

1. 平成 24 年度川口市総合防災訓練について

～平成 24 年 8 月 26 日（日）8 時 00 分（発災）～11 時 30 分を予定
同時開催 防災フェア 9 時 30 分から 12 時まで

2. 地域防災計画の修正について

東日本大震災で明らかになった課題について、平成 23 年 11 月に「埼玉県地域防災計画」が修正されたことから、同計画への整合性を図る必要が生じたことから、『川口市地域防災計画』を修正し、川口市の防災力の向上を図るもの。

主な改定：帰宅困難者対策、避難所開設・運営、放射性物質事故災害対策

3. 市民会館の耐震診断について

① 経緯～平成 23 年 3 月 11 日東日本大震災により、使用中止とし現在に至る。

《主な被害状況》

ホール内壁タイルの一部落下、天井材の破片一部落下、エントランスのサッシガラスの割れ（22ヶ所）、敷地内の地盤沈下、平成 4 月 27 日から耐震診断を実施～平成 24 年 4 月 19 日 耐震診断判定結果報告。

② 市民会館耐震診断判定結果の概要

ア. 構造体の耐震性能について

判定指標 重要度係数 $Z = 1.25$ $I_{so} = 0.75$ $C_{tu} \cdot SD \geq 0.30$

建物の耐震性の指標である I_s 値について、一般の建物は $I_s = 0.6$ 以上あれば安全と判定されるが、市民会館という多数の人が利用する施設なの

で、重要度係数を 1.25 として割り増し、 $I_s=0.75$ を目標値として耐震診断を行った。

(下の表を参照)

～X方向は判定指標を満足している。Y方向は部分的に判定指標を満足しておらず、補強が必要です。屋根面の水平ブレースは必要な耐力を有しておらず、地震時に破断する恐れがあります。

(耐震診断結果表)

	X方向(南北)		Y方向(東西)	
階	I_s	判定	I_s	判定
5	2.03	OK	0.59	NG
4	1.88	OK	1.04	OK
3	0.87	OK	0.54	NG
2	1.62	OK	1.05	OK
1	1.34	OK	0.79	OK

イ、 構造体以外の部位で想定される被害について

構造体以外での部位で地震時に損傷が想定される部分があります。これらの損傷により人命に甚大な被害が生じる事が想定されますので、十分な配慮（対策工事完了までの使用を控える）が必要と思われます。

コンクリートブロック壁は地震時に崩落する危険あり。屋根の ALC 版は地震時に落下する可能性あり、老朽化が進んでいる。屋根の水平ブレースが地震時に破断すると、ALC 版の落下が起こりやすい。客席部分、ホワイエ部分の天井は地震時に落下する可能性があり、天井の壊が高く、吊り材に振れ止め材が使用されていない。エントラス部分のスチールカーテンウォールでは地震時にガラスが落下する可能性があり、飛散防止フィルムが張られているが、落下を完全に防ぐことができない。高さがあるため落下すると危険です。

③ 今後の対策

- (1) 耐震判定結果は「補強を要する建物」である事から、利用者の安全性が確保できない間、引き続き使用を中止する。
- (2) 耐震改修工事及設備等改修工事の実施については、関係部局と検討する。